

# 雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

## チェーンソー講習会

9月2,3日にチェーンソーの講習会を受講した。会場は本牧の近くの港湾カレッジというところである。実技で大きな音を出すため、周りに差支えがない場所しかないということだった。

参加者は約30名で林業関係、公園関係、教育関係、その他とのこと。女性も3名受講していた。一日目は関係法令、振動に関する注意、作業時の安全に関する講義があった。

この講義では特に安全に関する課題を多く割っていた。林業関係の労働災害は他の業種と比較すると高い。死亡者の絶対数は建設業が林業の約10倍だが千人率(労働者千人に対する死亡者の割合)から見ると林業が最も高く28.7、建設業が5.0、鉱業が12.0(平成25年)となっている。建設業は以前はもっと高かったが、安全教育が進んだおかげでだいぶ少なくなってきたとのこと。それに対して林業は安全教育がおろそかになったり、基本を守って作業していないことが多いとのことだ。特に60歳以上の死亡率が高い。ベテランになるとこれくらい大丈夫だとの思い込みで作業をやることや、とっさの退避が遅れることもあるようだ。

どのような事故があるか話が出た。たとえば斜面で木を伐採したとき、垂直方向に木を倒すとその木が斜面を滑り落ちて下にいた人にあたった。また伐採した木が他の木の枝にかかり、その枝を切った時に掛かっていた木が倒れて下にいた人にあたった。中が空洞の木を伐採した時に根本が跳ね上がって人にあたったなどがある。このような災害を防ぐには、例えば斜面で木を伐採する時には斜面に水平方向に倒すとか、下にいる人と十分に連携を取って危険のないように伐採することが基本である。しかし、水平方向に倒すとそれを下すのが大変ということで、どうしても垂直方向に倒すようである。

その他の作業時の危険予防としては次のようなものがある。

1. チェーンソーを扱う人は木が倒れた時にどの方向に逃げるかを予め確認しておく
2. 逃げる方向につまずきのないように邪魔なものを取り除いておく
3. 周りにいる人は木の高さに対して1.5倍離れる
4. かかり木を処理する時は、ワイヤーロープをかけ、それを他の木を通してウインチなどを使う
5. 作業の状態を知らせるために笛を使う など

2日目は実技とメンテナンスがあった。まったくチェーンソーを使ったことのない人が約10名いた。私もその一人。最初に防具を身に着ける。ゴーグル付のヘルメット、防振手袋、チェーンソー作業用防護衣をつける。次は木を縦、横、斜めに切るときのチェーンソーの持ち方を実際に体験した。その後実際にエンジンをかけて木を切る。ブレーキをかけてエンジンを作動させる。エンジンは簡単にかかった。丸太を横にして輪切りを行った。これは難なくできた。次に横にした丸太の受け口の切り込みを入れる作業を行った。受け口の角度は下口に対して斜め口が約30~40度になるほうが望ましいということだったが、初めてだったので下口に対して20度ぐらいになってしまった。最初はこのような人が多いということで、慣れればもっとうまくできるようになるとのことだった。作業終了後はみんなで片づけを行った。このような作業はZFCでも何時もやっていることだ。

午後はメンテナンスの実技を行った。毎日行うこと、週1回行うこと、月1回行うことなどチェーンソーを前にしてグループに分かれて確認した。一番難しかったのは本体にソーチェーンを取り付けるところだ。我々のグループは難なくできたが初めてのグループは随分苦労していた。

いずれにしても基本を守り、安全に注意して作業を行うことが必要だと痛感した。

小島

## 1. 9月の主な活動内容

- ① 8月19日(水) 11名 炭材準備、炭小屋下斜面地調査準備
- ② 8月22日(土) 19名 暑気払い会、ZFC通信印刷・発送
- ③ 8月26日(水) 3名 炭小屋整理
- ④ 8月29日(土) 14名 檜除伐、炭小屋整理
- ⑤ 9月2日(水) 3名 炭小屋整理
- ⑥ 9月5日(土) 18名 炭小屋下斜面地調査(2区-7・8)、炭焼き準備、保全管理フォローアップ会議(13時—16時)
- ⑦ 9月12日(土) 19名 杉材整備、檜整備、炭焼き準備
- ⑧ 9月16日(水) 10名 炭焼き準備
- ⑨ 9月19日(土) 17名 炭焼き体験会、運営会
- ⑩ 9月20日(日) 4名 炭焼き

## 2. 運営会の報告

- ① 11月5日横浜栄高校三世代交流会に向けての準備を進める。  
・10月2日事前打ち合わせ ・当日の運営(橋詰・藤原・吉田・大越 他)
- ② 炭小屋垣根の補修について杭の準備目途がついたことから、竹材の確保等本格的作業を進める。
- ③ 10月の友の会関連行事に向けてZFCとしても積極的に参画する。  
・18日森を守るボランティア体験(2-3名)  
・25日森を守るボランティア祭り(2-3名)
- ④ 年末年始行事について本年度は忘年会でなく1月に新年会を開催することとする。

## 3. 10月活動予定

- ① 9月23日(水) 炭小屋整理
- ② 9月26日(土) イヌツゲの除伐、ZFC通信印刷・発送
- ③ 9月30日(水) 炭小屋整理
- ④ 10月3日(土) 炭だし、炭小屋裏植生調査(2区9-10)、安全講習
- ⑤ 10月7日(水) 炭小屋整理
- ⑥ 10月10日(土) 桜林間伐
- ⑦ 10月14日(水) 炭小屋整理、
- ⑧ 10月17日(土) 檜除伐・運営会
- ⑨ 10月18日(日) 友の会森を守るボランティア体験
- ⑩ 10月21日(水) 炭小屋整理
- ⑪ 10月24日(土) 炭小屋裏間伐、ZFC通信印刷・発送
- ⑫ 10月25日(日) 友の会森を守るボランティア祭り

以上